

プロジェクト紹介

千葉大学人文科学研究院

伝 康晴

ことば・認知・インタラクション11
パネル討論「会話コーパスが拓く
言語・相互行為研究の新たな地平」

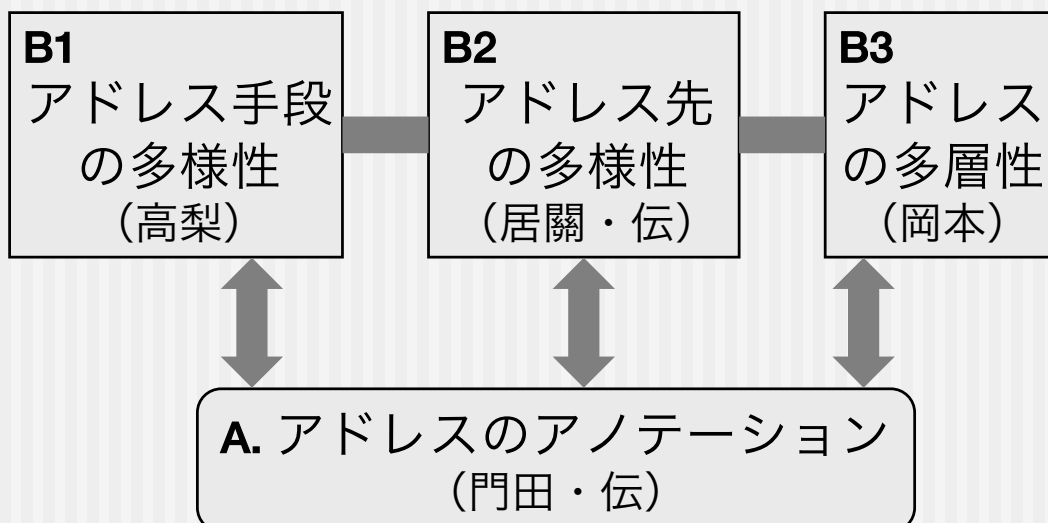
基盤研究 (B)

- 研究課題名
 - 会話における発話のアドレスの多様性：
コーパスアノテーションに基づく実証的研究
- 研究期間：2022年度～2024年度
- 研究組織
 - 伝康晴（千葉大）
 - 岡本雅史（立命館大）
 - 高梨克也（滋賀県立大）
 - 居關友里子（国立国語研）
 - 門田圭祐（学振／早稲田大）

研究目的

- 発話を他者に宛てる（アドレスする）行為に見られる多様性の実証的分析
 - A) 発話のアドレスのアノテーション
 - B) アドレスの多様性の実態の解明
 1. アドレス手段の多様性（視線や呼びかけ以外の文法・共有知識・発話連鎖資源等）
 2. アドレス先の多様性（第三者に宛てたり、誰にも宛てなかったり等）
 3. アドレスの多層性（他者に宛てたやり取りを外部の聞き手に見せる等）

役割分担



研究目的

- 発話を他者に宛てる（アドレスする）行為に見られる多様性の実証的分析
 - A) 発話のアドレスのアノテーション
 - B) アドレスの多様性の実態の解明
 - 1. アドレス手段の多様性（視線や呼びかけ以外の文法・共有知識・発話連鎖資源等）
 - 2. アドレス先の多様性（第三者に宛てたり、誰にも宛てなかったり等）
 - 3. アドレスの多層性（他者に宛てたやり取りを外部の聞き手に見せる等）

先行研究：アドレス先

1. 榎本・伝・松坂 (2005)：各発話のアドレス先

特定	呼称・視線・発話内容等で特定の聞き手に宛てられる
不特定	いずれかの聞き手の反応が期待されるが、誰であるか明示されていない
全員	すべての聞き手が反応することが期待される
なし	独り言的。とくに誰にも宛てられない
2. 榎本・伝・松坂 (2006)：各聞き手の反応の見込み

義務	反応することが要求されている
期待	反応が要求されてはいないが、期待はされている
可能	反応が期待されてはいないが、反応してもかまわない
不可	反応すると違和感がある

先行研究：アドレス手段

■ 高梨 (2009, 2016)

非言語的手段		視線
言語的手段	明示的	呼びかけなど
	暗黙的	人称代名詞、丁寧体・非丁寧体の区別、談話標識、固有名詞などの特定の語句の使用
	共有知識依存	共有エピソードへの言及、知識要求、知識伝達
	会話連鎖依存	隣接ペアの第二部分、同一の受け手への連続質問

研究目的

- 発話を他者に宛てる（アドレスする）行為に見られる多様性の実証的分析
 - A) 発話のアドレスのアノテーション
 - B) **アドレスの多様性の実態の解明**
 1. アドレス手段の多様性（視線や呼びかけ以外の文法・共有知識・発話連鎖資源等）
 2. **アドレス先の多様性（第三者に宛てたり、誰にも宛てなかったり等）**
 3. アドレスの多層性（他者に宛てたやり取りを外部の聞き手に見せる等）

分析：事例1

■ 発話の宛て先以外に行為を向ける (伝・居關 2019, 伝 2020)

【断片1】『日本語日常会話コーパス』 T003_001

- 01 やっ君: 遊び終わったら (0.14) ((→テキスト))
02 自分で片付け[る<= はい丸] ((途中から、→母親))
03 母親: [>え:それ<微妙]じゃ(h)な(h)い(h)? ((→やっ君))
04 (0.42)
05 母親: ママに言われなきや片付け(ない)<= ((→やっ君)) **たっ君への嫌味**
06 =**あでもやっ君は片付けるね** ((→やっ君))
07 (0.41)
08 やっ君: たっ君だ[よそれ] ((たっ君のほうへ顔を寄せながら)) **たっ君の理解**
09 たっ君: [俺は?] ((→タブレット))
10 (0.34)
11 母親: たっ君だね片付けない° の° ((途中から、→たっ君))

分析：事例2

■ Cf. (Clark & Carlson 1982)

【断片2】『日本語日常会話コーパス』 T011_015

- 01 母親: ジュンク堂行くんでしょ=明日誠司くん達と
02 (3.91) **母親の問いかけに無反応**
03 母親: 聞ってる:?
04 (1.11)
05 母親: きっ君
06 (0.45) **きっ君への嫌味**
07 きっ君: °(んー)°
08 (3.57)
09 母親: **反抗期は嫌だね:** ((目の前にやってきたインコに向けて))
10 (1.06) **さらなる無反応**
11 母親: うーん ((インコに向けて))
12 (1.95)
13 母親: **でも床屋には行ってもらわないとね** **明示的な命令**
14 (0.43)
15 きっ君: やだね

分析：事例3

- 「独り言」を契機とする
発話連鎖 (櫻井 2021卒論, 伝 2021)

【断片3】 『日本語日常会話コーパス』 T015_018
((九鬼選手のテロップを見て))

- 01 弟: えー? (0.25) すごえ名前:
02 (0.63)
03 父: なんて読むの?
04 (0.27)
05 母: 九鬼さん
06 (0.43)
07 父: 九鬼さん
08 (0.29)
09 母: おっ母[のクラスにもいるよ
10 父: [おじさん?

一見、誰にも宛てられていない発話

キーワードをきっかけとして連鎖が展開

分析の視点

- 向けられる行為
 - 嫌味・当て擦り
 - からかい・ほめ (初鹿野・岩田 2008)
 - 質問
- 連鎖環境
 - 連鎖の開始
 - 連鎖展開の促進や許容
 - 連鎖展開の阻止 (初鹿野・岩田 2008)

自分の文献

- 伝康晴 (2020) 「伝達意図とアドレス性」 『語用論研究』 21, 1-18.
- 伝康晴 (2021) 「『日本語日常会話コーパス』だからできること：独り言とスマホいじりの分析」 『日常会話コーパスVI』 口頭発表
- 伝康晴・居關友里子 (2019) 「日常場面における間接アドレス発話」 『日常会話コーパスIV』 ポスター発表
- 榎本美香・伝康晴・松坂要佐 (2005) 「3人会話における談話行為と受け手のラベリングとその基礎的分析」 『人工知能学会研究会資料』 SIG-SLUD-A502, 7-12.
- 榎本美香・伝康晴・松坂要佐 (2006) 「3人会話における談話行為と受け手のラベリングとその基礎的分析(2)」 『人工知能学会研究会資料』 SIG-SLUD-A503, 3-8.